

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3118002号

(U3118002)

(45) 発行日 平成18年1月19日(2006. 1. 19)

(24) 登録日 平成17年12月14日(2005. 12. 14)

(51) Int. Cl.

F I

B 4 2 D 3/18 (2006. 01)

B 4 2 D 3/18

H

B 4 2 D 1/00 (2006. 01)

B 4 2 D 1/00

F

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2005-8903 (U2005-8903)
 (22) 出願日 平成17年10月26日(2005. 10. 26)

(73) 実用新案権者 592235019
 山本化成株式会社
 東京都足立区足立2-47-3
 (74) 代理人 100075281
 弁理士 小林 和憲
 (72) 考案者 山本 国彦
 東京都足立区足立2-47-3 山本化成
 株式会社内

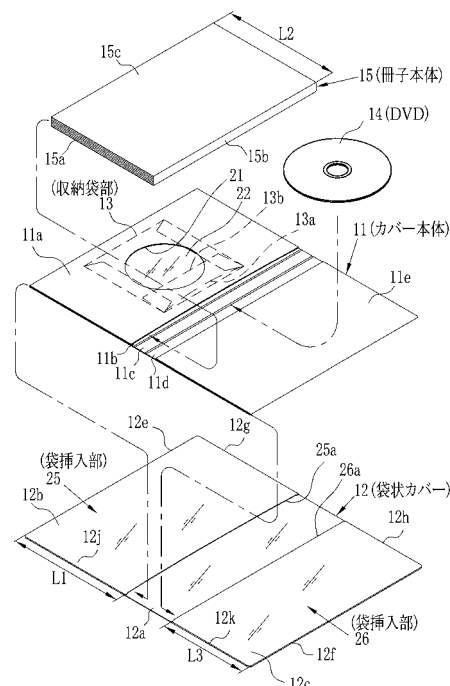
(54) 【考案の名称】 偏平記録媒体収納用ブックカバー及び偏平記録媒体収納冊子

(57) 【要約】

【課題】記録媒体が簡単に持ち去られないことがないようにした記録媒体収納用ブックカバー及び記録媒体収納冊子を安価に提供する。

【解決手段】カバー本体11を4本の谷折り線によって第1保持片11a、表表紙カバー部11b、背表紙カバー部11c、裏表紙カバー部11d、及び第2保持片11eに区画する。第1保持片11aに窓21を形成し、この窓21に対面する位置で収納袋部13を取り付ける。メインシート12aにカバースシート12b、12cの3辺を圧着させて、両側に袋状挿入部25、26を有する袋状カバー12を構成する。収納袋部13内にDVD14を挿入した後に、保持片11a、11eを折り曲げて、カバー本体11により冊子本体15を覆う。この冊子本体15を袋状カバー12で覆い、記録媒体収納冊子16を構成する。特殊な製本加工をすることなく、記録媒体収納冊子16が得られる。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

冊子の表表紙、背表紙及び裏表紙を覆うブックカバーにおいて、
前記表表紙及び裏表紙の表面の少なくとも一方を覆うカバー本体と、
前記カバー本体の縁から延設され、前記縁で折り曲げられて、前記カバー本体で覆われる表紙の裏面を覆う第 1 の保持片と、

前記カバー本体と前記保持片との間で保持片に取り付けられ、偏平記録媒体を収納する収納袋部と、

前記保持片に形成され、前記収納袋部に収納される偏平記録媒体が観察可能な窓と、

両側に袋状挿入部がその開口部を内側に向けて形成され、この袋状挿入部に、前記カバー本体により覆われた冊子の表表紙及び裏表紙が挿入されて、前記表表紙、背表紙及び裏表紙を覆う合成樹脂製の袋状カバーとを有することを特徴とする偏平記録媒体収納用ブックカバー。 10

【請求項 2】

前記袋状カバーが透明または半透明であることを特徴とする請求項 1 記載の偏平記録媒体収納用ブックカバー。

【請求項 3】

前記カバー本体は、前記表表紙、背表紙、及び裏表紙の表面を覆うように、前記表表紙、背表紙、及び裏表紙と略同じサイズで形成されている表紙カバー部を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の偏平記録媒体収納用ブックカバー。 20

【請求項 4】

前記第 1 の保持片が覆う表紙とは異なる側の表紙を覆うカバー本体部分の縁から延設され、前記縁で折り曲げられて、前記カバー本体部分の裏面を覆う第 2 の保持片を有することを特徴とする請求項 3 記載の偏平記録媒体収納用ブックカバー。

【請求項 5】

前記第 1 及び第 2 の保持片は、前記表紙カバー部の両側縁に設けられることを特徴とする請求項 4 項記載の偏平記録媒体収納用ブックカバー。

【請求項 6】

前記窓に対応する前記収納袋部に、開口または透明カバーが設けられることを特徴とする請求項 1 ないし 5 いずれか 1 項記載の偏平記録媒体収納用ブックカバー。 30

【請求項 7】

前記収納袋部は前記偏平記録媒体の挿入口を覆う折り返し蓋を有することを特徴とする請求項 1 ないし 6 いずれか 1 項記載の偏平記録媒体収納用ブックカバー。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 いずれか 1 項記載の偏平記録媒体収納用ブックカバーを用いて、前記冊子本体の表紙を覆い、前記収納袋部に前記偏平記録媒体が収納されることを特徴とする偏平記録媒体収納冊子。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】 40

本考案は、CD や DVD に代表される偏平記録媒体を収納可能にしたブックカバー及びこれを用いた偏平記録媒体収納冊子に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、雑誌や書籍などの冊子に、CD や DVD などの記録媒体を添付する場合に、透明フィルムや紙からなる封筒状ホルダや、合成樹脂製の透明カバー及び不織布からなる圧着ホルダ等を使用し、これらホルダに記録媒体を収納したものを、表表紙や裏表紙の裏面や冊子の所定頁などに貼ったり、綴じたりしていた（例えば、特許文献 1～3 参照）。また、冊子の 2 頁分以上のサイズの紙片を加工して、袋状のホルダ等を用いることなく CD 等の記録媒体を収納可能にした CD 付き冊子も提案されている（例えば、特許文献 4、5 参 50

照)。

【特許文献1】特開平9-175582号公報

【特許文献2】特開平10-875号公報

【特許文献3】特開2003-26274号公報

【特許文献4】特開2002-11973号公報

【特許文献5】特開2000-238462号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、特許文献1～3のように、袋状ホルダ等を用いて記録媒体を冊子に収納すると、記録媒体を収納したホルダが表紙の裏面などに貼り付けられているだけであるので、簡単に取り外され、この記録媒体のみが持ち去られてしまうという問題がある。また、特許文献4、5のように、冊子内に記録媒体をしっかりと収納してしまうと、簡単には持ち去ることができなくなるものの、製本作業時に記録媒体を収納させるための各種工程が必要になり、製造単価が高くなってしまいう問題がある。

【0004】

本考案は上記課題を解決するためになされたものであり、記録媒体が簡単に持ち去られることがなく、しかも特殊な作業を必要とすることなく通常の製本作業により、記録媒体を収納した冊子及びこれに用いるブックカバーを安価に提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上記目的を達成するために、本考案の偏平記録媒体収納用ブックカバーは、冊子の表表紙、背表紙及び裏表紙を覆うブックカバーにおいて、前記表表紙及び裏表紙の表面の少なくとも一方を覆うカバー本体と、前記カバー本体の縁から延設され、前記縁で折り曲げられて、前記カバー本体で覆われる表紙の裏面を覆う第1の保持片と、前記カバー本体と前記保持片との間で保持片に取り付けられ、偏平記録媒体を収納する収納袋部と、前記保持片に形成され、前記収納袋部に収納される偏平記録媒体が観察可能な窓と、両側に袋状挿入部がその開口部を内側に向けて形成され、この袋状挿入部に、前記カバー本体により覆われた冊子の表表紙及び裏表紙が挿入されて、前記表表紙、背表紙及び裏表紙を覆う合成樹脂製の袋状カバーとを有することを特徴とする。また、本考案は、前記袋状カバーが透明または半透明であることを特徴とする。また、前記カバー本体は、前記表表紙、背表紙、及び裏表紙の表面を覆うように、前記表表紙、背表紙、及び裏表紙と略同じサイズで形成されている表紙カバー部を有することを特徴とする。また、本考案は、前記第1の保持片が覆う表紙とは異なる側の表紙を覆うカバー本体部分の縁から延設され、前記縁で折り曲げられて、前記カバー本体部分の裏面を覆う第2の保持片を有することを特徴とする。また、本考案は、前記第1及び第2の保持片は、前記表紙カバー部の両側縁に設けられることを特徴とする。さらに、本考案は、前記窓に対応する前記収納袋部に、開口または透明カバーが設けられることを特徴とする。また、前記収納袋部は前記偏平記録媒体の挿入口を覆う折り返し蓋を有することを特徴とする。

【0006】

本考案の偏平記録媒体収納冊子は、上記の偏平記録媒体収納用ブックカバーを用いて、冊子本体の表紙を覆い、前記収納袋部に前記偏平記録媒体が収納されることを特徴とする。

【考案の効果】

【0007】

冊子の表表紙及び裏表紙の表面の少なくとも一方を覆うカバー本体と、前記カバー本体の縁から延設される第1の保持片と、前記カバー本体と前記保持片との間で保持片に取り付けられ、偏平記録媒体を収納する収納袋部と、前記保持片に形成され、前記収納袋部に収納される偏平記録媒体が観察可能な窓と、両側に袋状挿入部がその開口部を内側に向けて形成され、この袋状挿入部に、前記カバー本体により覆われた冊子の表表紙及び裏表紙

が挿入されて、前記表表紙、背表紙及び裏表紙を覆う合成樹脂製の袋状カバーとを有するから、従来のように、製本作業時に表紙や本体頁部分に記録媒体の収納部を形成する必要がなくなり、製本作業を従来の通常の冊子と同じように製造することができる。また、基本的に、収納袋部が取り付けられたカバー本体とこれを覆う袋状カバーとから構成されるため、部品点数が少なく、安価に製造することができる。更に、袋状カバーで表紙の裏面が覆われるため、記録媒体を取り出す際には、冊子を略180度を開いた状態で取り出す操作が必要になり、記録媒体の持ち去りが困難になる。さらに、収納袋部の偏平記録媒体挿入口を覆う折り返し蓋を有することにより、折り返し蓋を開ける操作が必要になり、記録媒体の持ち去りが更に困難になる。カバー本体は冊子の表表紙または裏表紙を覆うことが可能であれば、偏平記録媒体収納用カバーとして機能するが、冊子の表表紙、背表紙、及び裏表紙の表面と表表紙及び裏表紙の裏面とを覆うようにカバー本体を構成することにより、一体感が出るとともにカバー本体へ冊子の表紙と同様な印刷を施すことができる。また、紙や合成樹脂などからなる1枚のカバー本体に多様な印刷や箔押しなどを施すことで、装丁することができ、製本段階での装丁を簡略化することができ、その分だけ製造コストを抑えることができる。

10

20

30

40

50

【考案を実施するための最良の形態】

【0008】

図1及び図2に示すように、本考案の偏平記録媒体収納用ブックカバー10は、カバー本体11と袋状カバー12とから構成されており、カバー本体11内の収納袋部13内には偏平記録媒体としてのDVD14が収納される。このブックカバー10を用いて冊子本体15の表表紙15a、背表紙15b及び裏表紙15cを覆うことにより、DVD14を収納した偏平記録媒体収納冊子16が構成される。

【0009】

図3に示すように、カバー本体11は長形状の紙製シートから構成されており、4本の平行な谷折り線20a～20dによって、第1保持片11a、表表紙カバー部11b、背表紙カバー部11c、裏表紙カバー部11d、及び第2保持片11eに区画されている。表表紙カバー部11bは冊子の表表紙15aとほぼ同じサイズで構成されている。同様に、背表紙カバー部11c、裏表紙カバー部11dも、冊子の背表紙15b、裏表紙15cに対応してほぼ同じサイズで構成されている。

【0010】

谷折り線20b、20cは、ほぼ90度に折り曲げられ、これにより表表紙カバー部11b、背表紙カバー部11c、裏表紙カバー部11dによって冊子本体15の各表紙15a～15cが覆われる。また、谷折り線20aにより第1保持片11aが表表紙カバー部11bに対して略180度に折り曲げられて、表表紙15aが挟まれる。同様に、谷折り線20dにより第2保持片11eが裏表紙カバー部11dに対して略180度に折り曲げられて、裏表紙15cが挟まれる。このカバー本体11の表面には、冊子本体15と同様の印刷が施されており、また、各保持片11a、11eの表面にも、冊子本体15の案内文やDVD14のタイトルや取り扱い方法などが印刷されている。

【0011】

図3に示すように、第1保持片11aには丸孔からなる窓21が形成されており、この窓21からDVD14を観察することができる。窓21に対応する位置で第1保持片11aの裏面には、収納袋部13が接着剤や粘着テープなどによって取り付けられている。

【0012】

収納袋部13は、正形状の紙製袋から構成されている。窓21に対応する部分には透明シート22（図2参照）が貼り付けられており、収納袋部13内のDVD14のタイトルなどが観察可能になっている。また、収納袋部13の挿入口13aを覆うように折り返し蓋13bが延設されている。この折り返し蓋13bで挿入口13aを塞ぐように折り返すことにより、収納袋部13からDVD14が脱落することがないように保持される。また、DVD14を取り出す際に折り返し蓋13bを開ける操作が必要になり、取り出し操作が増えることにより、記録媒体収納冊子16から不正にDVD14を取り出すことがよ

り困難になり、持ち去り防止効果が得られる。

【0013】

収納袋部13には、折り返し蓋13bを閉じた位置にしたときに、この折り返し蓋13bを押えるための押え片13cが切欠き13dによって形成されている。切欠き13dは円弧状に形成されており、この切欠き13dで囲まれた押え片13cにより折り返し蓋13bを袋部本体13eとの間で挟むことにより、折り返し蓋13bの開放が阻止される。

【0014】

図2に示すように、袋状カバー12は透明な合成樹脂製シートから構成されており、本実施形態ではポリ塩化ビニル樹脂(PVC)からなるメインシート12a及び2つのカバーシート12b, 12cを有する。そして、これらシート12a~12cを用いて袋状挿入部25, 26が形成されている。 10

【0015】

袋状挿入部25, 26は、メインシート12aの両端にカバーシート12b, 12cの端縁を合わせるように重ね、メインシート12aの両側縁12e, 12fとこれに連続する上縁12g, 12h、及び下縁12j, 12kとを熱圧着させることにより、形成される。この袋状挿入部25, 26の挿入開口25a, 26aは内側に向けて形成されており、これら挿入開口25a, 26aから、カバー本体11で覆われた表表紙15a及び裏表紙15cが挿入される。

【0016】

図4は、袋状カバー12内にカバー本体11を収納した状態を示しており、この状態で記録媒体収納用ブックカバー10が構成される。このブックカバー10は、冊子本体15(図2参照)をカバーするとともに、冊子本体15と対応するDVD14(図2参照)を収納するものとして利用される。この他に、本考案のブックカバー10は、ノートや、日記、手帳やアルバムなどの冊子のカバーとして用いてもよい。この場合には、ノートに記入した参考文献の電子データや、アルバムに貼ったデジカメデータやこれに関連する動画データなどを記録するDVD-Rや、DVD-RAM、CD-R、CD-RWなどの各種書き込み可能な記録媒体が収納される。また、日記、手帳のカバーとして用いられる場合には、例えばデジカメデータや参考資料の電子データなどが書き込み可能な上記同様の記録媒体に記録される。 20

【0017】

図2に示すように、収納袋部13を有する第1保持片11aが挿入される側のカバーシート12bの長さL1は、冊子本体15の表表紙の長さL2に対して95%の長さにされており、収納袋部13から簡単にDVD14が取り出せないようになっている。なお、長さL1は、好ましくはL2に対して70%以上99%であり、より好ましくは80%以上95%以下である。また、他方のカバーシート12cの長さL3は、袋状挿入部26への裏表紙15cの挿入が容易で且つ裏表紙15cが袋状挿入部26から脱落することの無い長さであればよく、例えば冊子本体の表表紙長さL2に対して30~90%の範囲内で形成される。なお、本実施形態では縦に長い表表紙15a及び裏表紙15cを有する冊子本体15を例にとっているが、絵本や図鑑、写真集などのように横に長い表紙を有する冊子本体に対しても本考案が実施可能である。また、矩形の表表紙15a及び裏表紙15cを 40

【0018】

本考案の記録媒体収納冊子16は以下のように組み立てられる。まず、図3に示すように、カバー本体11の収納袋部13内に冊子本体15の内容に対応するDVD14が入れられ、折り返し蓋13bで閉じられて、押え片13cによって折り返し蓋13bが押えられる。次に、カバー本体11を谷折り線20a~20dで谷折り、図2に示すように、この谷折りした第1保持片11aと表表紙カバー部11bとの間に冊子本体15の表表紙15aを、裏表紙カバー部11dと第2保持片11eとの間に冊子本体15の裏表紙15cを挿入する。次に、袋状カバー12の各袋状挿入部25, 26にカバー本体11で覆われ 50

た冊子本体 15 の表表紙 15 a 及び裏表紙 15 c を挿入する。これにより、D V D 1 4 が収納された記録媒体収納冊子 1 6 を簡単に製造することができる。特に、製本作業時に D V D 1 4 を綴じ込んだり、ホルダを介して貼り付けたりすることがなく、製本を通常の仕事で行うことができ、簡単にしかも安価に製造することができる。

【0019】

書店やコンビニ等では、図 1 に示すように、袋状カバー 1 2 で D V D 収納部である収納袋部 1 3 が押えられているため、D V D 1 4 を取り出す際には、図 5 に示すように、表表紙 1 5 a が挿入された袋状挿入部 2 5 をほぼ冊子本体 1 5 に対して 1 8 0 度を開いて、袋状挿入部 2 5 (図 2 参照) 内に指を挿入して、折り返し蓋 1 3 b を開き、D V D 1 4 を取り出す操作が必要になり、D V D 1 4 を簡単には取り出すことができなくなる。このため、D V D 1 4 のみの持ち去り予防が図れる。また、購入後には、D V D 1 4 を取り出して再生した後に、再度、袋状挿入部 2 5 の収納袋部 1 3 内に収納することができ、冊子本体 1 5 とこれに対応する D V D 1 4 とが散逸してしまうことがなくなる。

10

【0020】

なお、上記実施形態では、カバー本体 1 1 で、冊子本体 1 5 の表表紙 1 5 a、背表紙 1 5 b、裏表紙 1 5 c を覆うように構成したが、最低限表表紙 1 5 a または裏表紙 1 5 c のいずれかを覆うように構成し、これの裏面に保持片 1 1 a を設けてもよい。この場合でも、袋状カバーで保持片がカバーされ、さらに保持片内の収納袋部で D V D が収納保持されるため、D V D の持ち去りを困難にすることができる。また、表表紙 1 5 a を覆う第 1 保持片 1 1 a に収納袋部 1 3 を設けたが、裏表紙 1 5 c を覆う第 2 保持片 1 1 e に設けてもよく、更には両方に設けてもよい。

20

【0021】

また、保持片 1 1 a、1 1 e は表表紙カバー部 1 1 b 及び裏表紙カバー部 1 1 d に谷折り線 2 0 a、2 0 d を介して連続させたが、この連続方向は各表紙の側方のみならず上端縁、または下端縁であってもよい。また、収納袋部 1 3 は正形状の紙製袋から構成したが、D V D などの偏平記録媒体を収納保持することができるものであればよく、単に保持片 1 1 a に正形状のシートの 3 辺を貼り付けたものであってもよい。また、シートや袋の形状は正方形に限られず、六角形、半円と長方形とを組み合わせた形状などの各種形状であってもよい。また、カバー本体 1 1 や収納袋部 1 3 は紙から構成したが、合成樹脂から構成してもよい。また、カバー本体 1 1 及び収納袋部 1 3 を透明シートから構成してもよい。窓 2 1 の形状は円形としたが、この他に、三角形、四角形、五角形、六角形などの多角形、ハート形状やその他の各種形状などであってもよい。

30

【0022】

また、上記実施形態では、冊子本体 1 5 の各表紙 1 5 a ~ 1 5 c と同様の印刷をカバー本体 1 1 に施し、袋状カバー 1 2 を透明なシート 1 2 a ~ 1 2 c から構成したが、袋状カバー 1 2 に冊子本体 1 5 の各表紙 1 5 a ~ 1 5 c と同様の印刷を施す場合には袋状カバー 1 2 を構成するシート部材は、透明に限られず、半透明、白色やその他の色であってもよい。

【0023】

前記偏平記録媒体としては、D V D 1 4 の他に、C D、光ディスク、光磁気ディスク、L D 等の円形状偏平記録媒体が用いられる。更には、電子的に情報が記録されたメモリカードも偏平記録媒体として収納可能である。

40

【0024】

また、冊子本体 1 5 には図示は省略したが通常を表装カバーを施してもよく、この場合には表装カバーを施した状態で本考案の記録媒体収納用ブックカバー 1 0 を用いる。また、表装カバーの裏面には、冊子本体のタイトルとは無関係の図柄やお知らせ、広告などを印刷してもよく、この場合には、カバー本体 1 1 と袋状カバー 1 2 とを取り外して、冊子本体 1 5 と表装カバーのみで使用する際に、冊子本体 1 5 のタイトルなどを隠すことができ、利用範囲が広がる。

【図面の簡単な説明】

50

【0025】

【図1】本考案の偏平記録媒体収納冊子の一例を示す斜視図である。

【図2】偏平記録媒体収納冊子を示す分解斜視図である。

【図3】カバー本体の組み立て状態を示す斜視図である。

【図4】本考案の偏平記録媒体収納用ブックカバーの一例を示す斜視図である。

【図5】記録媒体収納冊子からDVDを取り出している状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

【0026】

10 偏平記録媒体収納用ブックカバー

11 カバー本体

11a 第1保持片

11b 表表紙カバー部

11c 背表紙カバー部

11c 裏表紙カバー部

11e 第2保持片

12 袋状カバー

13 収納袋部

13b 折り返し蓋

14 DVD

15 冊子本体

15a 表表紙

15b 背表紙

15c 裏表紙

16 偏平記録媒体収納冊子

20a～20d 谷折り線

21 窓

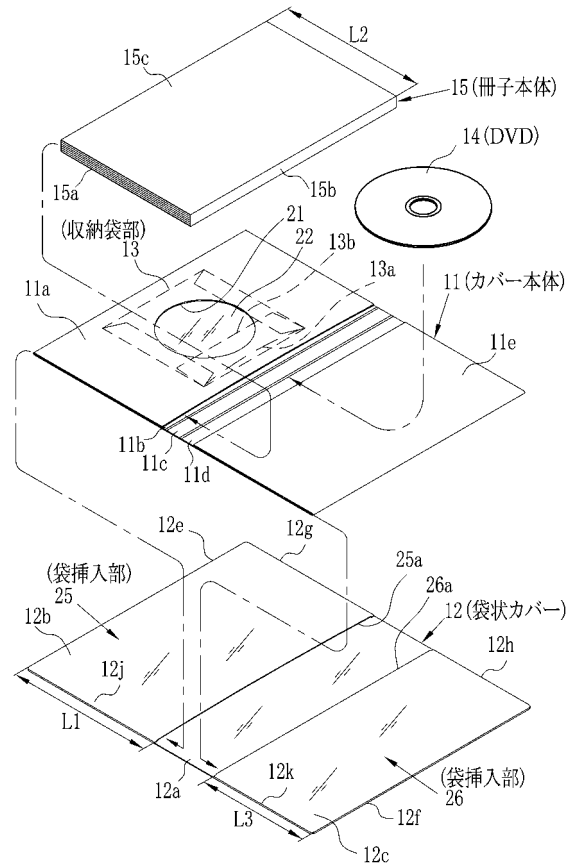
22 透明シート

25, 26 袋状挿入部

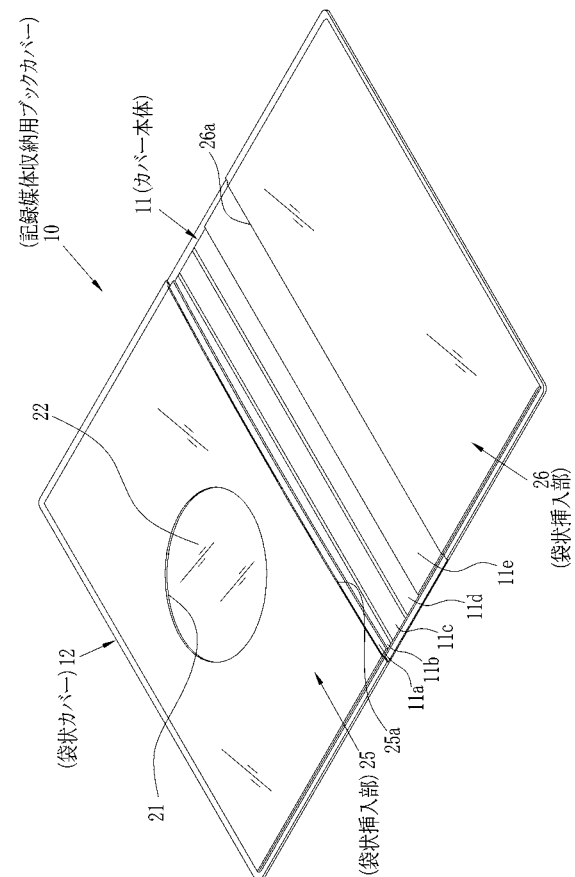
10

20

【圖 2】



【 図 4 】



【図 5】

